

受 験 番 号

一 次の文章を読んで後の問いに答えなさい。

力ずくでなんとかなるものはすべてシステムにやられる

8歳でコンピュータと出会った私ですが、もちろん最初からITが人間の生き方を根本から変えるほどのものだと思っただけではありません。世界の中で自分の認識する範囲が狭い場合は、コンピュータはただの生活のインフラの一部で、水道や電気などと同じようなものだと思っただけです。

この本の読者もコンピュータというものは単なる電化製品にすぎないと思っただけの人もいるでしょうし、当然小中学生にとっては、便利なツールであるけれど、それ以上でもそれ以下でもないと感じるに違いありません。でも、おそらくこの世界のことを知れば知るほどに、自分の認識が広がれば広がるほどに、コンピュータというものの特殊な性質がわかってきます。それは、人が努力しながら行っているような単純で辛い作業や、誰がやっても同じ作業はシステムにどどん取って代わられていくということ①で、人間は努力の仕方を変えることが求められています。

コンピュータが得意にしているのは「総当たり戦」です。与えられた問題の答えやコンテンツのバリエーションを総当たりで探して、最適解を見つづける。「この電話番号を探せ」と命じられたら、分厚い電話帳のページを端から端まで全部サーチして見つけ出すようなものです。いわば単純作業ですが、人間にはできないスピードで淡々とそれをやり続けられるのがコンピュータやそれによってできたシステムです。たとえば円周率の計算も、手作業で行くと、とても時間がかかります。総当たりでガンガン答えを見つけていくコンピュータを使わない理由はないように思います。彼らが音楽や映像を作り出すようになったら、それはたっくさんのコンテンツが社会に溢れる②でしょう。

インターネットも、人間と人間をつなぐことで「総当たり戦」のできるシステムです。たとえばウィキペディアは、誰でも自由に編集に参加できるシステムを使って、百科事典としての量と精度を複数人の監視によって上げていくプロジェクトです。グーグルの検索も、大勢の人間がそれを使うことによって、より多くの人にとって重要な情報が上位でヒットするようになる仕組み。 A () 不特定多数の「集合知」で勝負しているわけです。

その集合知がどれほどの力を発揮できるかが、インターネットにとってひとつの課題でした。しかしながら、インターネットに貯まり続ける情報と、それを基にした機械学習のテクノロジーは、平均的な人間が知りうる知識や、判断基準を超えるような知識量を有しています。

「クラウドソーシング」後の世界の変遷

A () と B () がつながったコンピュータとは一体、どういうことなのか。一例として、クラウドソーシングの話をしておきましょう。クラウドソーシングとは、「群衆 (crowd) 」+「業務委託 (sourcing) 」という意味。特定の外部業者などに業務を委託する「アウトソーシング」と違い、インターネットを活用して不特定多数の人々に仕事を依頼するスタイルのことです。数年前は、真新しい概念として多くの国内サービスが生まれつつありましたが、現在では国内プラットフォームの「ランサーズ」も「クラウドワークス」も相次いで上場企業になりました。

かつて企業やイベントなどのロゴデザインやウェブサイトの製作は、デザイン事務所やIT企業にとって「おいしい仕事」でした。ロゴとウェブサイトを200万円で丸ごと請け負うようなケースは、十数年ぐらい前まではよく目にしました。発注側は、そういう仕事を引き受けてくれる業者をよく知らないで、口コミなどで紹介してもらったところに頼んでいたでしょう。料金も、業界の相場などわからないので、相手の言い値を受け入れるしかありません。

ところがクラウドソーシングで発注すると、デザインを勉強している美大や専門学校の学生やフリーランスの人材が、自分のアイデアを何十案も出してきます。クオリティはピンキリですが、なにしろ数が多いので、使えるものもたくさんある。そのひとつを選べば、かつて200万円かかっていたものが、4万〜5万円で済んでしまうのです。もちろん、五輪のロゴを決めたりアップル社のロゴを変えたりという一大事は向いていませんが、マーケティングの上でかっこいいロゴがあれば良い、というケースはかなり多いので、超上流の仕事以外は、コスト破壊が起こるようになってきました。

コストの暴落は、それだけでは済みません。翻訳可能な業務であれば、4万円で受けた仕事を、さらにインドあたりの物価の安い国の労働者

に20000円で卸すこともできるようになりました。それで差額3万8000円の仕事になるわけです。いままでは仕事の紹介や信頼や口利きで行ってきたことをプラットフォームがフラットにし、結果として、ギグエコノミー的な問題がクリエイティブの世界にも起こってきました。^{*3}

オリジナル以外の「もどき」はシステムに負ける

これまでは、「営業に回って仕事を受注する」「見積書を作成する」「クライアントの要望を現場に伝える」といった中間的な仕事をホワイトカラーが担っていました。しかしクラウドソーシングとRPAの組み合わせは、そのプロセスにかかるコストを限りなくゼロに近づけてしまいました。^{*4} (B)、以前は200万円だったものが4万円にまで暴落する。すでに「ホワイトカラーの仕事はシステムに持つていかれる」と書きましたが、これがその具体例のひとつなのです。^⑥

これまでは高いギャラをもらっていたデザイナーたちも、4万円でもアイデアを出す学生や2000円で仕事を引き受ける諸外国の労働者に負けてしまいます。

もちろん、その人にしか作れない本物のオリジナリティを持っているトップランナーは、以前と変わらない地位と報酬を保っているのも事実です。個人の力を強化された著名クリエイターや数百万人のフォロワーを持つインスタグラマーのような人は、他の追随を許さない(要するに「代わりがない」)ので、そのまま生き残っていくでしょう。

(C)、「もどき」のクリエイターはそうはいきません。これまでは「もどき」でも著名クリエイターに準じる立場でいられたかもしれませんが、これからの時代は「ひとりのオリジナル」以外には大きな価値がない「もどき」と「4万円で引き受けるクラウドソーシングの大群」の勝負は、後者の圧勝に終わる可能性が高いでしょう。いわば集合知解決による「数の暴力」です。このようなケースを考えればわかるように、システムによって貧困が再生産されていくという特徴があります。逆に言うと、クラウドソーシングの大群側はひとつあたりのコストを抑えて作っていくしかない。もしくはコンピュータを使ったデザインの自動化をする。人間を極力使わずデザインするためにプログラミングするしかありません。この繰り返しですが、並列化した人間をやがてはシステムで置き換えていく仕組みです。この変化は現在進行形で起こりつつあり、数年でずいぶん進んだと思います。そして今、コロナ禍に伴うテレワークの増加でも同じような置き換えが起こりつつあります。

ちなみにホワイトカラーも、まったく不要になるわけではありません。トップクラスの処理能力を持つ超優秀なホワイトカラーは、システムに置き換えられないでしょう。^⑦しかし、それ以外はシステムに代替されるかもしれません。オリジナリティのない「もどき」の集団も、並の処理能力しか持たないホワイトカラーも、システムの無尽蔵な処理能力によって存在価値を根底から失ってしまうのです。

(落合 陽一『働き方5・0 これからの世界を作る仲間たちへ』より)

注*1 特定の組織、会社、団体に所属せず個人で仕事をする人。

- 2 消費者が求める商品やサービスを調査するなどして、販売活動の方法を検討・決定すること。広義には市場を広げるための活動を指す。
- 3 どこにいても同じような状態。
- 4 インターネットを通じて単発の仕事を受注する働き方やそれによって成り立つ経済形態のこと。
- 5 頭脳労働職。
- 6 ロボティック・プロセス・オートメーションの略称。ロボットによる業務自動化のこと。

問一、(A) (B) (C) に当てはまる語を、次のア～エの中からそれぞれ一つ選び記号で答えなさい。

ア しかし イ たとえば ウ つまり エ しかも オ だから

問二、傍線部①「人間は努力の仕方を変えることが求められています」とあるが、その理由として当てはまるものを、次のア～エの中から一つ選び記号で答えなさい。

- ア 社会のシステムが変化したことによって、人間が行う仕事の本質が大きく変化しつつあるから。
- イ 社会のシステムが変化したことによって、人間が行う仕事の方法が大きく変化しつつあるから。
- ウ コンピュータシステムが進化したことによって、人間の生き方や働き方が変化しつつあるから。
- エ コンピュータシステムが進化したことによって、人間との関係が大きく変化しつつあるから。

問三、傍線部②「それ」とは何を指すか、本文中から抜き出しなさい。

問四、傍線部③「コンピュータやそれによってできたシステム」が持つ能力を、「オリジナル以外の『もどき』はシステムに負ける」の章段から八字で抜き出しなさい。

問五、(A) (B) (C) (D) (E) に入る語の組み合わせとして正しいものを、次のア～エの中から一つ選び記号で答えなさい。

ア 物・物 イ 人・人 ウ 人・物 エ 人・事

問六、傍線部④「ピンキリ」の類義語として当てはまらないものを、次のア～エの中から一つ選び記号で答えなさい。

ア 当たりはずれ イ 玉石混交 ウ 大小さまざま エ 利害関係

問七、傍線部⑤「持っていられる」を言い換えた言葉を、本文中から五字で抜き出しなさい。

問八、傍線部⑥「具体」の反対語を、次のア～エの中から一つ選び記号で答えなさい。

ア 実体 イ 抽象 ウ 事象 エ 総体

問九、傍線部⑦「それ」とは何を指すか、本文中から抜き出しなさい。

問十、本文の内容に合致するものには○を、合致しないものには×を答えなさい。

- ア これまでホワイトカラーがやってきた仕事のほとんどは、システムが代行するようになる可能性が高い。
 イ コンピュータやシステムに負けない人材になるためには、クリエイティブな生き方をする必要がある。
 ウ クラウドソーシングの発展はコストの削減につながり、日本の経済を揺るがすほどの変化をもたらした。
 エ その人にしか作れない本物のオリジナリティを持っているかどうか、その人の存在価値につながる。

二

次の文章を読んで後の問いに答えなさい。

善良であっては、たいした人生をすごすことができない。べつに目新しい思想とは言えないかもしれないが、ここにひとりの男があり、これが彼の信念だった。

成人するまでのあいだに、いつのまにか彼の心のなかで、この信念が確立してしまっていた。といって、とくに異常な環境で成長したのでも、家庭や友人が悪かったわけでもないから、原因を求めるとしたら、たぶん読書のせいであろう。

古今東西をとわず、歴史物語から実録物や小説に至るまで、いきいきと活躍する主人公たちは、みな、なにかしらよからぬことをしている。兵をひきいて他国を攻めとった古代の君主にしろ、美しい女性との恋にひたる現代の若い実業家にしろ、良心①を捨てるという洗礼をへているからこそ、自由な羽ばたきができるのだ。そして、その踏み台や犠牲にされているのは、必ず善良な人間たちということになっている。

こんな状態が許されていいものだろうか。彼もはじめのうちは、こう憤②った。だが、現実こそ解答なのだ。いいの悪いのという段階ではない。やがて、憤りは疑問へと変った。これが世の中の真の姿かもしれない、と。さらに妥協から信念へと移ったのだ。どうせやるのなら、善良の束縛を徹底的に払いのけてしまおう、と。

しかし、善人たることを拒否したといっても、彼が悪に熱中しはじめたわけではない。悪をめざしてひたすら突っ走るのは、目的と手段との混同であり、頭のおかしいやつやることだ。彼の精神状態はあくまで正常であり、また冷静だった。

目的は金なのだ。正確にいえば、人生を楽しく満足感をもってすごしたいという欲望、それを実現するに必要な資金なのだ。それを得るために、良心のささやき③のスイッチを切ってしまうことにきめたのだった。

学校を出ると、彼はまともな大きな会社に就職した。④なんにもふしぎではない。良心は捨てたといっても、すぐさま凶器をひつつかんで強盗を働こうなど、考えもしなかったのだ。いや、考えはしたのだが、検討してみるまでもなかった。強盗ほどばかげた行為はない。スマートでなければ、手に入る金額だって知れている。満足できる金額に達するには犯行を重ねなければならず、したがって、つかまる確率だって多くなる。そうになったら、もともこもない。刑務所に入って、なにが楽しい人生だ。

やるからには綿密な計算と準備、それに、機会を最大限に活用することだ。集金係に配置されたことが、漠然としていた彼の計画を、しだいに結晶させる核となった。持ち逃げという行為は研究に値するもののようにだ、と。第一に、簡単であり、他人を殺傷するおそれもない。すなわち、争って自分の血を流す心配もないことになる。

④持ち逃げに限る。この方針はきまったものの、すぐ実行に移しはしなかった。いま彼に任されている範囲の金額では、欲望⑤をみたすのに不十分なのだ。まあ、数カ月は遊んで暮せるかもしれない。少し景気よくやればその半分だ。そして、それで終り。もう一回、持ち逃げをやらせてはくれまいし、首をくくるのもいやだ。あまり割りのいいことではない。

⑥まず信用を築かなければならない。そうすれば、任される金額だって多くなる。それからちようだいしたほうが賢明ではないか。悪をおこなうにもけっこう忍耐が必要なものだと、彼は悟った。

彼はまじめな勤務ぶりを装⑦うことに努めはじめた。他の社員たちのように、上役の目にとどく範囲にいる時だけという、なまぬるいことではだめだ。社の内外を区別せず、全生活をそれで覆った。上役に対してのみならず、同僚に対しても、取引先に対しても、近隣をはじめあらゆる人びとに対して、信頼するに足る人物だとの印象を植えつけなければならぬ。決して楽な日常とはいえないが、きたるべき決行の時のため

だった。それによってもたらされる快適な日々のことを空想すれば、耐えがたいどころか、わき出る気力のつきるけはいもなかった。

しかし、すべてが順調に進展していったわけではない。まず、最初の予期しなかった障害が襲いかかってきた。(中略)

障害は一回では終らなかった。またも激しく彼を見舞った。人通りの少ない道で、二人組の男に襲われたのだ。相手はすばやく靴を引たくれるつもりでいたようだ。しかし、彼にはうまく通用しなかった。

つね日ごろ、こんな危機をケイ戒するように心がけていたからだ。不慮のサイ難として弁解できないことはない。だが、狂言強盗との疑念を持つ者だつてあるだろう。今後の計画にさしつかえるし、こんな損な役まわりはない。

彼は必死に抵抗した。これはおれの金だ。将来、おれが持ち逃げするための金なのだ。おまえらに渡してたまるものか。

二人組のほうは一瞬ひるんだ。だが、あきらめるどころか、さらに勢いを加えた。この抵抗は大金のためだろう。しかし、二人と一人の争いだ。力づくで取りあげることは簡単だ。

二つの見解がぶつかりあい、狂ったような闘いが展開された。

やがて、目撃した通行人が知らせたためか、警官がかけつけてきて、すべてを収容した。逃げそこなった二人組と、金の入った鞆と、傷ついで血まみれになった彼とを。

しばらく入院をしなければならなかったが、彼は喜びでいっぱいだった。からだは傷ついたが、信用は傷ついていない。無限の未来を開く鍵は、まだ手のなかに残っているのだ。

見舞いに来た会社の人は、口々に彼を賞賛した。身をもって会社の金をまもったのだから。もつとも、なかにはこんなことを口にする者もあつた。

「きみはばか正直だよ。あまりに無茶だ。生命の危険をおかしてまで、会社につくす必要はないじゃないか。もつと要領よく立ちまわったほうがいいよ」

心からの忠告であるのは、たしかだった。しかし、彼は笑って受け流し、内心でこうつぶやく。つまらない考え方だ。善人どもの考えることはけちくさく、あさはかだ。おれが計画を決行した時、どんな顔つきをするか眺めてやりたいよ。

退院して出社した彼には、異例の昇進が待っていた。扱える金額も格段にはねあがった。彼はそのコウ運に身ぶるいするほどだった。だが、それを強く押えつけ、その地位にふさわしくなるよう努めた。

これからは上役のみならず、部下の目をもくまさなければならぬ。普通の善人だったら、ねをあげるかもしれない努力だった。部下にはやさしく、締めるべき時には締める。この技巧を完全に使いはたさなければならぬ。

努力のいかいがあった。外見は実直そうだが、なかなかの人物だ。身のまわりに、そういった雰囲気^dを固^dテイさせることに成功したのだ。それは同時に、上役への信頼を増すことにもなった。

彼は緊張をゆるめなかった。内心の計画を少しでも察知されたら、いままでの苦心も水の泡になる。その秘密さえ保っていれば、彼の信用がふえ、任される金額がふえる。すなわち、持ち逃げしうる金額、彼の財産ではないか。

緊張は社にいる時ばかりではない。帰宅してからの時間を、勉強にあてた。

法律。法の網^zをくぐって逃げるのだから、くわしく知っておいたほうがいい。

経済。持ち逃げした資金を有利に回転するには、経済に無知では損をしてしまう。

外国語と国際情勢。場合によっては国外逃亡をしなければならぬ。その時、いいかげんな国で、うろろろするようでは意味がない。安全な国で、有利な商売をはじめなければならぬ。

彼の構想はふくれあがり、かつ精密をきわめていった。それにつれ、持ち逃げすべき資金の額もふえてしまう。仕方なく、会社での地位を高めるために、学んだ知識の一部を提供する。それはむだにはならない。予想どおり、確実な収穫となつてかえってくるのだから。

彼は努力しつづけた……。

経済新聞の記者が、彼にむかってこう聞くことがある。

「あなたは今日の地位を、異例のスピードで、しかも正当な手段で獲得なさいました。なにか秘訣^{ひけつ}がおりなのですしょう」

「ええ、信念^⑨ですよ」

「それを発表していただけませんか。若い人たちへの教訓となるでしょう」

しかし、豪華な椅子^{いす}にかけた彼は、口をつぐんで答えようとしなない。まさか「善良であつては、たいした人生をすごすことができない」などと、言うわけにはいかないではないか。

(星 新一『妄想銀行』より)

問一、傍線部 a～d のカタカナと同じ漢字を使う熟語を、それぞれア～エの中から一つ選び記号で答えなさい。

a 「ケイ戒」	「ア ケイ帯	イ ケイ向	ウ ケイ察	エ ケイ統
b 「サイ難」	「ア サイ会	イ 色サイ	ウ サイ取	エ サイ害
c 「コウ運」	「ア コウ庭	イ 不コウ	ウ コウ級	エ コウ作
d 「固テイ」	「ア テイ住	イ 海テイ	ウ テイ裁	エ テイ出

問二、傍線部「くまの」の「の」のうち、文法的に異なるものを一つ選び記号で答えなさい。

問三、傍線部①「良心」を言い換えている箇所を本文中から五字で抜き出さない。

問四、傍線部②「良心のささやき」に使われている表現技法を、次のア～エの中から一つ選び記号で答えなさい。

ア 倒置法 イ 擬人法 ウ 隠喩法 エ 直喩法

問五、傍線部③「就職」の熟語の構成を、A群のア～カの中から一つ選び記号で答えなさい。また、同じ構成の熟語を、B群のア～カの中から一つ選び記号で答えなさい。

A群	ア 同じような意味の漢字を重ねたもの	イ 反対または対応の意味を表す漢字を重ねたもの
	ウ 上の字が下の字を修飾しているもの	エ 下の字が上の字の目的語・補語になっているもの
	オ 主語と述語の関係にあるもの	カ 上の字が下の字の意味を打ち消しているもの
B群	ア 温暖 イ 因果 ウ 投球 エ 国立 オ 不安 カ 遠路	

問六、傍線部④「持ち逃げに限る」とあるが男がそう考えたのはなぜか、簡潔に説明せよ。

問七、傍線部⑤「欲望」とあるがそれはどのようなものか、本文中から十八字で抜き出さない。

問八、傍線部⑥「まず信用を築かなければならない」とあるが、その理由を次のア～エの中から一つ選び記号で答えなさい。

- ア 一度の持ち逃げで自分の欲望を満たすくらいの額を得るためには、大金を任されるようになる必要があるから。
 イ 持ち逃げをするには大金を扱う可能性のある集金係にならねばならず、その役割を新しく得る必要があるから。
 ウ 持ち逃げに必要なのは綿密な計算と準備であり、その成功の可能性を上げるためにも研究が必要であるから。
 エ 自分の欲望を満たすくらいの大金を持ち逃げするためには、信用できる仲間を助けてもらう必要があるから。

問九、傍線部⑦「彼は笑って受け流し」とあるが、この時の男の感情として当てはまるものを次のア～エの中から一つ選び記号で答えなさい。

ア 喜び イ 悲しみ ウ 驚き エ あざけり

問十、傍線部⑧「水の泡」とあるが言葉の使い方として正しいものを、次のア～エの中から一つ選び記号で答えなさい。

- ア この程度の雨ではとても水不足は解消されまい。まさに水の泡だ。
 イ まだ新しいクラスみんなが水の泡をかぶっておとなしい。
 ウ 休日に家族水の泡で食事をしてゆっくり過ぎることができた。
 エ 今回の失言で彼のこれまでの努力は水の泡となった。

問十一、傍線部⑨「信念」とあるがそれはどのようなものか、本文中から二十五字で抜き出さない。

三 次の各問いに答えなさい。

問一、【 】のような場面で、それぞれの（ ）部分はどうのような言い方をすればよいか。最も適切なものをそれぞれア～ウの中から一つ選び記号で答えなさい。

① 【受付係がお客様に】

こちらの書類に（ ）ください。
 ア ご記入 イ ご記入して ウ ご記入されて

② 【顧問の先生に】

いろいろと（ ）（ ）本当にありがとうございました。
 ア ご指導してください イ ご指導していただき ウ ご指導いただき

③ 【駅のアナウンスで】

特急券をお持ちでない方は、この列車には（ ）ません。
 ア 乗れ イ ご乗車になれ ウ お乗りすることはでき

問二、「」の中と同じ関係になるように、対応するものを次のア～エの中からそれぞれ一つ選び記号で答えなさい。

- | | | | | |
|-------------|-----------|--------|-------|---------|
| ① 「自動車・タイヤ」 | ギター…（ア 弦 | イ 演奏 | ウ 楽器 | エ バイオリン |
| ② 「醤油・大豆」 | ケーキ…（ア パン | イ デザート | ウ お菓子 | エ 小麦粉 |
| ③ 「勝者・敗者」 | 権利 …（ア 自由 | イ 労働 | ウ 義務 | エ 特権 |

問三、次のア～オの文を並び替えたとき、三番目に来る文を記号で答えなさい。

- ア 父親に連れて行ってもらった博物館で、大きなクジラの骨格標本に目を丸くした。
- イ その印象の強さからだろう。
- ウ 夏休みのこの季節、思い出す子どもの頃の記憶がある。
- エ ああ、海のなかにはこんな生き物がいるのか。
- オ 博物館はいまでも、私には特別な存在だ。

問四、文化祭で桃太郎をやることになりました。話し合いで「桃太郎・犬・キジ・猿」役を決めることにしました。その時の会話は次の通りです。皆の意見を尊重した際、役をどうすればいいか、後のア～エの中から一つ選び記号で答えなさい。

- Aくんは「桃太郎かキジがいい」と言っています。
- Bくんは「猿以外ならなんでもいいよ」と言っています。
- Cくんは「絶対にキジがいい」と言っています。
- Dくんは「どの役でもいいよ」と言っています。

- | | | | | |
|---|-------|-----|-------|-----|
| ア | A 桃太郎 | B 犬 | C キジ | D 猿 |
| イ | A 桃太郎 | B 猿 | C キジ | D 犬 |
| ウ | A キジ | B 犬 | C 桃太郎 | D 猿 |
| エ | A キジ | B 猿 | C 桃太郎 | D 犬 |